

熊本市立地適正化計画（素案）の策定に関する
パブリックコメントの結果について

平成28年2月26日
都市建設局 都市政策課

熊本市立地適正化計画（素案）について、市民の皆様からご意見を募集したところ、下記のようなご意見をいただきました。ありがとうございました。なお、公表にあたりましては、取りまとめの都合上、ご意見を案件ごとに集約させていただきました。

記

- 1 意見募集期間 平成27年12月25日～平成28年1月27日
- 2 意見募集結果の公表日 平成28年2月26日
- 3 ご意見の提出状況 ご意見を提出された方の人数 7名
ご意見の件数（まとめごと） 13件
- 4 提出されたご意見と、それに対する本市の考え方 別紙記載のとおり
※いただいたご意見は、趣旨を要約させていただいております。また、同内容のご意見は一項目として取りまとめさせていただきました。

（内訳）

【対応1（補足修正）】

ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの 0件

【対応2（既記載）】

既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの
0件

【対応3（説明・理解）】

市としての考えを説明し、ご理解いただくもの 4件

【対応4（事業参考）】

素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事柄として今後の参考とするもの
4件

【対応5（その他）】

素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの 5件

お問合せ先
熊本市 都市建設局 都市政策課
電話番号 096-328-2502

提出されたご意見とそれに対する本市の考え方

項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
	<p>(都市機能誘導区域の設定について)</p> <p>800m圏内の市街化区域が少ないため、富合地区など都市機能誘導区域が少ない地域がある。区域区分の見直しを行い、800m圏は最低でも7、8割は都市機能誘導区域に入れるべき。</p> <p>魅力的な地域拠点にする為には十分な広さが必要。市街化区域の少なさに配慮するため、国への陳情など、何らかの策を講じてほしい。</p>	<p>都市機能誘導区域は、多くの人が集まる場所付近で交通の要衝となる鉄軌道駅やバス停を中心に、概ね徒歩10分圏である800m圏を基本とし、都市再生特別措置法に基づいて市街化調整区域等を除いて設定しています。</p> <p>このようなことから、富合地区等は区域区分指定状況により都市機能誘導区域が狭くなっておりませんが、都市機能誘導区域内への誘導施設の維持・確保に向けては、今後関係団体等と連携し取り組んでまいります。</p>	<p>対応3</p>
<p>素案に関すること</p>	<p>(地域拠点の差別化について)</p> <p>地域拠点については、例えば区役所周辺の地区は1000m圏にするなど、中心市街地、区役所周辺、総合支所周辺の三段階で分けるのが筋だと思う。</p>	<p>都市機能誘導区域の設定は、概ね徒歩10分圏を基本としており、中心市街地、区役所周辺、総合出張所周辺ごとで、徒歩圏域に違いは無いことから、800m圏としています。</p>	<p>対応3</p>
	<p>(防災について)</p> <p>防災を含めての都市機能をどこまで進めるのか。</p>	<p>本計画は、人口減少・超高齢社会の到来を見据え、日常生活に必要な機能を維持・確保することで、現在の暮らしやすさを維持していくことを目的としています。このことから、防災機能についての位置づけはしておりませんが、多核連携型の都市空間を形成していくうえで、防災・減災の推進については重要な視点であることから、防災意識の向上などを通して地域防災力の向上を図るとともに、行政、地域・市民及び防災関係機関などの連携のもと、防災体制の整備を図ってまいります。</p>	<p>対応3</p>

素案に 関すること	<p>(誘導施設の土地の確保について) 誘導施設を確保するための土地の確保をどうしていくのか。</p>	<p>土地の確保に向けた支援策については、一定条件のもと税制上の優遇措置等が示されており、その活用際には民間事業者との調整が必要になることから、国や関係団体等と連携しながら取り組んでまいります。</p>	<p>対応3</p>
	<p>(進捗のスピード感について) 誘導施設として指定されたものは最低限のものだと思う。それすら現状では無い拠点がある。最低限のものができて初めて拠点と呼べる。そこまでは一気に持っていく必要がある。</p>	<p>誘導施設の維持・確保に向け、関係団体等と連携しながら、全ての都市機能誘導区域内で誘導施設が維持・確保できるよう促進してまいります。 施策展開にあたり考慮すべき事柄として今後の参考とさせていただきます。</p>	<p>対応4</p>
	<p>(今後の進め方について) 現状をよく捉えた計画であると思う。方向性は妥当で賛成。「多核連携都市」というコンセプトで、まちづくりをすることは理解できる。今後は、政策の進め方(過程)をできるだけ公開し、市民への理解を得ることが必要。市民への周知を図り「多核連携都市」というコンセプトを発信してほしい。</p>	<p>政策の展開過程の公開や市民への周知については重要な観点と考えております。熊本市多核連携都市推進協議会の効果的な運営を図るとともに、取り組み等の周知広報に努めてまいります。 政策展開にあたり考慮すべき事柄として今後の参考とさせていただきます。</p>	<p>対応4</p>
	<p>(居住誘導区域外の対応について) 居住誘導区域のエリア外の対応強化。公共交通の持続的な維持が必要。</p>	<p>多核連携都市を目指すにあたり、郊外部などの居住誘導区域外への対応や公共交通の維持は重要であると考えており、関係部署と連携して取り組んでまいります。 施策展開にあたり考慮すべき事柄として今後の参考とさせていただきます。</p>	<p>対応4</p>

<p>素案に関すること</p>	<p>(熊本駅周辺整備について) 熊本駅周辺の開発の遅れが大きい。新幹線ターミナルとして開発された鹿児島、最近開発され好評の大方。以前、行政、政治の中心であった熊本市の立ち遅れが目立つ。</p>	<p>中心市街地の活性化に向けて、熊本駅の周辺では、連立事業や駅舎・駅広場の整備、さらにはJRによる駅ビル整備など、駅周辺の活性化に向けて、市、県、JR等が一体となった整備を促進しています。 施策展開にあたり考慮すべき事柄として今後の参考とさせていただきます。</p>	<p>対応4</p>
<p>その他</p>	<p>(熊本市の今後の発展について) 品格はもちろん、中心市街地や地域拠点はエネルギーに、福岡にも引けをとらない都市となるよう期待する。</p>	<p>素案に対する意見ではございませんが、熊本市の今後の発展等に対するご意見として伺います。</p>	<p>対応5</p>
	<p>(道路整備について) 熊本には阿蘇や天草など観光名所があるが、道路網が脆弱でアクセスが良いとは言えない。道路の整備を急ぐべき。</p>	<p>素案に対する意見ではございませんが、交通アクセス等に対するご意見として伺います。</p>	<p>対応5</p>
	<p>(空港について) 空港の場所が遠すぎる。熊本港の近くに持ってくるなどして利便性を増すべき。そして西熊本駅から線路を引くなどして公共交通のアクセスを良くするべき。</p>	<p>素案に対する意見ではございませんが、空港アクセス等に対するご意見として伺います。</p>	<p>対応5</p>
	<p>(植木駅周辺整備について) 20年位前、植木駅から国道3号線まで道路を結ぶ計画があった。さらに、合併時にはロータリー計画があったが現在は何の声も聞かなくなった。計画が尻切れ状態になる事は残念。</p>	<p>素案に対する意見ではございませんが、植木駅周辺整備等に対するご意見として伺います。</p>	<p>対応5</p>
	<p>(熊本連携中枢都市圏について) 熊本連携中枢都市圏の中では、富合は地域拠点ではなく、生活拠点に格下げされている。格上げをお願いする。</p>	<p>素案に対する意見ではございません。熊本連携中枢都市圏ビジョン(案)においても、ご意見のような事柄は確認できません。</p>	<p>対応5</p>